

SAPANA

～あなたの食卓にひとりのお客様を～ No.31

認定NPO法人いきいきフォーラム草の根支援 HP: <http://www1.tcn-catv.ne.jp/ikiiki-kusanone/>

〒113-0023 東京都文京区向丘1-7-8 コミュニティスペース「ほのぼの」内 T&F 03-3816-5346

E-mail f-kusanone@tcn-catv.ne.jp 郵便振替番号: 00180-7-315287 フォーラム草の根支援「食卓の貯金箱」

《特集》 支援10年目のタイ「ひよこホーム」

「ひよこホーム」の支援は今年で10年目。

より一層ご理解いただくため、今号はホームの概要と今をお伝えします。

「ひよこホーム」とは

タイ北部、ラオス、ミャンマーとの国境に接するチェンライ県にあります。村に学校のない高地少数民族“ラフ族”の子どもたちが公立学校に通うため生活している「生徒寮」です。それぞれ独自の言葉を持っている高地民族にとって、タイ語を学ぶことはタイ社会で生きていくためには必要最低条件です。今年は、親元を離れ幼稚園～高校生の男女33人が、寮から学校に通っています。

「ひよこホーム」の成り立ち

1986～7年、故谷口巳三郎氏と故林牧師が中心となり、日本からの支援で、“ラフ族”の子どもたちの寮「バンブーハウス」（「ひよこホーム」の前身）を建て、現在の寮母ヤティさんの両親が子どもたちの世話をしていました。

1991年、谷口氏と親交のあった榎本正文教諭（当時松戸市立第一中学校勤務）が、日本からの支援がなく、栄養失調の子どもたち20人ほどがいる「バンブーハウス」を紹介され、仲間と共に「ひよこの会」を設立、支援を引き継ぎます。

1995年、ヤティさんが寮母を継ぎ、現在、家族（夫と娘2人）も子どもたちと共に「ひよこホーム」で生活しています。



ラフ族の衣装で正月を迎える

子どもたちの実家のあるラフ族の村とは？

ホイチョンプー村です。「ひよこホーム」のある麓から山の村までは悪路を車で1時間。米、野菜、生姜、果物（柿・バナナ・さくらんぼ）等の農作物を作り生計を立てていますが、天候に左右され不安定で、安定収入を求め、町に出稼ぎに行く親も増えています。現在は村人の90%がタイの国籍（ID）を持ち、両親がIDを持っていれば、その子どもも7歳になったときにIDを持つことができるようになりました。

当法人の支援の始まりは

いきいきフォーラム2010（当法人の前身）の会員が、榎本教諭のお誘いを受け、FOREST21（2003年、当時松戸市立松戸高校の榎本教諭の教え子たちが卒業時に創立した会）のスタディツアー報告会の話聞き、2006年より「食卓の貯金箱」が支援を始めました。

（2Pに続く）

今抱えている問題

この数年の円安で、現地通貨での支援額が数年前より約 30%少なくなっています。加えてタイの物価高（特に米、プロパンガス）で寮の運営が厳しくなっています。

支援金を繰り上げ送金

ヤティさんから「ここ数年の円安と物価高で、とうとう今年度暮らしていけなくなる」との SOS が届きました。理事会で、今年度 2 回目の支援金 20 万円を、予定を繰り上げることに決定。11 月 11 日に送金しました。ヤティさんから支援金受け取り確認とお礼の手紙が届きました。

こんにちは、おかげさまで元気です。今日は郵便局から 2 回目の支援金をもらってきました。どうもありがとうございました。皆さまのご親切を心から感謝いたします。ほんとに助かります。今年度はこれで生活していけると思います。来年度は新しい子どもを受け入



ヤティさんとポヴィさんご夫妻

れない事と、子どもの親が寮に払うお金を増やすことになっています。

何回も色々な問題に出会う時、がっかりする事があるんです。でも、もし、私がここにいらないことになると、この子どもたちはどうなるかと思って、いままで頑張っているんです。また、今から将来のことはどうなるかと心配です。もし、日本から支援金が無くなったら、この「ひよこホーム」を守って続くことはできないと思います。これからもどうぞよろしくお願いします。

*もっともっと、お礼を書きたい。心から言いたいことはたくさんあります。でも私の日本語が下手ですからたくさん出てこない事を許して下さい。またがんばります。

2015. 11. 16 ヤティ

ネパール便り



バジさんから 10 月 27 日に発信された最新のお便りを紹介します。

皆さまお元気ですか。今日は、お知らせのみです。

四谷第六小からお預かりしましたたくさんの絵をブッシュルダダ校とジャナカラヤン小に持っていきました。写真のとおり、皆とても興味深そうでした。次はどんな進展があるか楽しみです。

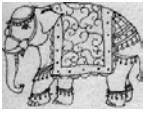
この 2 ヶ月よく歩きました。十数校でなく、数十校を訪れました。ほとんど教育庁からの大きな支援は、パルパには来ていません。35,000 ルピーから 100,000 ルピー（40,000 円～120,000 円）ぐらいで竹で仮の教室をつくる支援はあちこちにありました。後 2 週間でティハール祭が終り、いよいよ復興にとりかかります。でもガソリンがなく（インドとの関係で）資材が入って来ません。どうなるのでしょうか。

ともかくできることは、やらせてもらいます。 2015. 10. 27



ブッシュルダダ校の子ども達

OK Baji



SEDs便り

2015 年度の支援金送金と相前後して、2014 年度の活動報告書が、届きました。概要をお知らせします。

報告書は、S E D S 全般の事業にわたっていますが、私たちが支援対象としている S E D S スクールに関する報告に絞ってお知らせすることといたします。

SEDsスクールの活動

4月：学校年度 2013-2014 年の第 10 回卒業生からお礼の手紙をもらいました。すべての子供の身長、体重、履物のサイズを記録しました。子供たちは図工教室で紙で船を作りました。クリケットやホーホーその他の試合をしました。昼食を食べ、夕刻にバス代を払ってもらいました。

8月：健康キャンプが実施され、子供たちに通学用バッグ、学用品、制服、履物が配布されました。この日、リン・ピカリングとイアン・ピカリングが催しに参加したのでうれしかったです。この健康キャンプのために、スバラオ医師、アジャイ・クマル医師、その他多くの医師たちが来てくれました。みんなで図画工作し、ゲームで遊び、昼食を食べ、バスで楽しく帰宅しました。PIA（SEDs を支援



しているオーストラリアの NGO）からリンとイアンが、同団体への寄付者から特別参加した人ともども SEDs の催しに出てくれました。

9月：クリスマスカードを準備しました。クリスマスに向けて服や履物のサイズを調べました。図工教室では紙で船を作り、またクリケットやホーホーなどの試合をしました。

11月：大会の日には、遊び、歌を歌い、競技に参加しました。一般知識に関するクイズにも参加しました。ネール（元首相）の誕生日の 11 月 14 日に開催されるこどもの日のことについて作文を書きました。遊び、ランチをして一日中楽しんで帰宅しました。



12月：クリスマスの星飾りを作り、星、鈴を描いて飾りました。みんなでカバディ、クリケット、飛び跳ねダンスなどで遊び、ランチを食べ、バス代をもらって、一日楽しい日を過ごし帰宅しました。クリスマスの新しい服と履物が子供たちに配られました。

2月：新学期の準備をしました。新しい履物のサイズを測りました。マレーシアからニルマルさんとその家族が訪れ、PIA の催しに参加し、子供たち折り紙でカエルを折るやり方を教えてくれました。午後まで楽しく遊び、ランチを食べて喜んで帰宅しました。

3月：第 10 回卒業生の名簿作りと第 10 回生からのお礼の手紙をもらいました。毎月の催しでは、子供の体重と身長を記録しています。ホールのチケット数と第 10 回卒業生のお礼の手紙を集めました。みんなでホーホーで遊び、飛び跳ねダンスに興じ、ランチをした後、帰宅しました。

国内支援先便り

福島原発事故の放射線の影響で、外遊びが出来ない子どもたちへの支援活動をしている団体からの報告と礼状です。

「蓬萊町ままうさぎ」(福島市のボランティアグループの活動、本年度から新規支援)



蜜蝋キャンドル作り

拝啓 初秋の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、去る9月5日に予定より企画いたしておりました、「親子蜂蜜の森バスツアー」が、御NPOのあたたかい基金のお力添えのもと、無事催されましたことをご報告いたします。

貸切り大型バスに32名が同乗し、秋の清々しい一日を山形県朝日町の森で伸び伸びと過ごすことができました。

八ヵ月の乳児をはじめ三世代の親子がリフレッシュできましたことに感謝申し上げます。

簡単ではございますが、写真にて当日の様子をお知らせいたします。

末筆ながら、ご自愛のほどお祈り申し上げます。

敬具



「母ちゃんず」(相模原市のボランティアグループが中心。2013年度より支援)

キャンプの概要

日程	2015年7月29日(水)～8月2日(日)
場所	大地沢青少年センター 住所:東京都町田市相原町5307-2
参加者	38名(子ども25名、大人13名)
参加者居住地	福島市、伊達市、郡山市、本宮市、安達郡、いわき市
参加者費用	無料(全てを寄付金でまかなっています)
ボランティア延べ人数	80名(調理・保育・搬入・搬出など)
後援	町田市・相模原市・相模原市教育委員会・ 相模原市社会福祉協議会・つちのこくらぶ

※かかった費用は年間会計報告書に掲載します





AGORA(広場)

この頁は皆様との楽しい交流の場です。
日頃お考えのこと、作品や写真など、
何でも結構ですからお寄せください。

振込用紙の通信欄より

多くの書き込み有難うございました。(原文掲載)

11. 25 (H, S)

「お願い」のお手紙をいただいて、重い腰をやっと上げました。すみません。ずっと、送金しようと思ってたためていたのですが、遅くなってごめんなさい。また、送金できる時がありましたらよろしくお願いします。

9. 29 (Y, K)

貯金箱について一言。私の家族は、主人と二人なので、貯金箱はいたむこともなく、くり返し使えます。というより、毎食ごとに相手のことをおぼえるという主旨から離れつつあるかも知れません。小銭を入れる又出すことがめんどろで、すみません。自分の寄付の姿勢をかえりみて…

9. 15 (A, I)

皆さま、大変ご苦労さまです。でも、素晴らしい活動に参加できたことに感謝いたします。これからも、がんばりましょう。

9. 16 (M, N)

今年度も、3つの活動の柱のもと、充実した1年になりますよう、祈っています。

掲示板

1)第6回チャリティ公演会「いきいき笑転会(落語)」開催のご案内

今回は第3回公演会でご好評をいただいた三遊亭兼好師匠に再び ご登場いただきます。お席に若干の余裕がございますので、参加ご希望の方は当日会場へお越しいただいて受付でお申し出ください。

開催日時：平成27年12月13日(日) 14:00～16:00 (開場13:30)

開催場所：日比谷図書文化館B1F 日比谷コンベンションホール千代田区日比谷1-4

演 者：三遊亭兼好師匠 & お仲間

木戸銭：前売り券/予約2000円(当日券 2500円)

2)第13次ネパールツアー平成28年3月13日～22日に実施予定

ネパール国内行程の詳細はOK バジと打ち合わせ中です。今回は地震で被災したパルパ郡の支援先の学校およびカトマンズの世界遺産の状態をご自分の目で確認できる有意な機会です。ツアーについてご関心、ご質問のある方は当法人事務所までご連絡ください。

3)カレンダー「ネパールの笑顔」ほぼ完売～有難うございました。

ネパール大震災被災地支援策の第2弾として当会員の撮影した写真をもとに作成、販売したカレンダー「ネパールの笑顔」は1,000部完売いたしました。

4)文京区NPO活動PRフェアに参加

9月27日(日)に文京シビックセンターで開催された上記フェアに当法人も参加し、「ネパール大震災への支援」というテーマで理事長が活動説明を行いました。訪れた方々から、「食卓の貯金箱運動は、素晴らしいですね」との声をいただきました。

5)あごろしうのご案内

1月22日(金)、12時よりいきいき事務所で、昼食を摂りつつ開きます。お出かけください。昼食の必要な方は、事務局(03-3816-5346)まで、お電話ください。

「食卓の貯金箱」へのご協力誠に有難うございました（2015年9月～15年11月）※敬称略

※詳細省略

「ネパール大地震被災者救援募金」 9月末で締め切りました。有難うございました。

※詳細省略

「いきいき草の根支援」へのご寄附（2015年9月～11月）

※詳細省略

理事会便り

※12月は今年の募金（寄附金）の締め切りの月となり、来年1月には、今年いただいた全ての寄附者に対して寄付を行った年月日、金額等の詳細を記入した「寄附金受領証明書」を発行し郵送いたします。この証明書を、確定申告書に添付すれば寄附金の約40%の税務控除が受けられる大切な証明書ですから、今年私は何時、いくら募金をしたかを確認して保管していただきたいと思います。

※この証明書は1月20日前後に、ご自宅に届くようにします。この郵便封筒には「重要書類」のスタンプを押していますのでくれぐれも破棄したりしないようご注意ください。

（事務局長：田村和久）

編集後記

※9月末にて、ネパール大地震被災者救援募金を、締め切らせていただきましたが、皆さまから多くの善意をお寄せくださいました。お蔭様で、OKバジさんに、470万円を送金することができました。5カ月間という短い期間に、募金いただいた皆さま方に心より、御礼申し上げます。

※今年もたくさんのご協力を賜り、誠に有難うございました。

皆さま、良いお年をお迎えくださ